

「原水爆禁止2015年世界大会」 広島・長崎に参加

広島

被爆七十年を核兵器廃絶の転換にと開かれた2015年世界大会は8月2日の国際会議をスタートに、6日まで広島で開催。栃木県代表団は、小、中、高生を含む、総勢一五人で参加。新婦人県本部の伊藤さんが3日から国際会議にも参加しました。

8月4日

開会総会には、3、300人が参加、海外代表や国民大行進者が登壇し挨拶。来賓の坪井直さんの挨拶、俳優の宝田明さんが、満州からの辛い引き上げと、出演した「ゴジラ」の制作への思い語り、「安倍さん、もう白旗を揚げなさい」と話すと会場から大きな拍手がおきました。



8月5日

分科会は、県代表団は6つの分科会と3つの動く分科会に参加しました。夜も民医連の交流会や「女性のつどい」も開かれました。国内外からの報告、全員合唱、華やかな衣装をまとったフラダンスの披露など、女性たちのしなやかさとパワーに会場が熱気にあふれました。

8月6日

ヒロシマデー集会は、5,500人の参加者で埋まりました。「戦争させない」「誰の子どもも殺されない」のコールが会場に響きました。「スペシャル企画、被爆地広島から世界へ」では、被爆したピアノが演奏され、被爆者と参加者が心をひとつにして「折り鶴」を合唱しました。国連のキムウォンス軍縮担当上級代表の発言に続き、日本共産党の志位委員長が連帯挨拶をしました。潘基文国連事務総長の言葉を紹介し、「一人ひとりが声を上げ、立ち上がれば、日本も世界も必ず変えることができます」と呼びかけました。



長崎

原水爆禁止2015年世界大会は広島に引き続き、7日から9日まで長崎で開催。栃木県代表団は、8名参加しました。

8月7日

「長崎のつどい」(二部・全体会)では、被爆者・谷口稜睡さんからの訴えに圧倒され、安倍政権の戦争法案は絶対許せないとの言葉に全参加者が決意を新たにしました。(第2部・文化の夕べ)では、当合唱団による合唱組曲「平和への旅へ」に感動しました。18時に終了し、五千人を超える参加者でした。

8月9日

各フォーラム・テーマ別集会に参加しました。(「報告集」をお読みください)

8月9日

開会総会(被爆70年ナガサキデー集会)は10時30分開会しました。「被爆地長崎から世界へ」といただいたスペシャルプログラムがおこなわれ、被爆者奥村アヤさんの淡々とした訴えに涙し、全国から、海外からの力強い訴えに会場は大きな声援でこたえました。六千人の参加者でした。



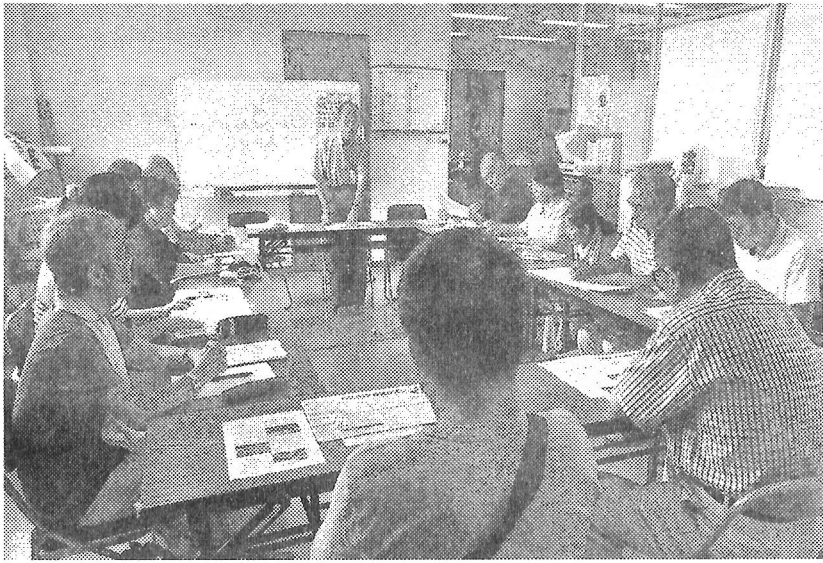
第40回定期総会の開催

2015 第40回原水爆禁止栃木県協議会の定期総会を下記の日程で開催します

日時 11月21日(土)午後2時

場所 壬生町南犬飼公民館

記念講演など詳細が決まり次第、お知らせいたします。



のさ声たビ行川大またちてきこらを
 で後らユつ内会たも報しあがを
 ぜ日、か、ーた原後ある告た
 ひ「け「(をと発、るをた
 お報レ受のの参真剣を熱
 読告レけろ加に見行方
 み集た。レテ稼伸て「は
 くだこ)レ働ばか「は
 さいい。と。ビ。し。ら。芝
 し。ま。な。見。県。反。は。島
 す。す。ど。た。内。の。対。は。で
 。。が。よ。に。イ。集。故。、
 。。報「戻ン会郷長、も
 。。告とっタにの崎、たし
 。。聞

「広島の日」平和の鐘をつく

6日、さくら市の東輪寺の境内で、今年も核兵器も戦争もない世界を願う「平和の鐘をつく集い」が開かれました。

地元の檀家さんや平和を願い人たち30人が集まり人見住職による読経が流れるなか、広島に原爆が投下された、8時15分、鐘がつかれ、参加者が黙祷。その後1人ひとりが鐘をつきました。

人見住職は、特攻隊員として死に向き合った学生の思いをつづった一文を紹介し、「戦争は勝っても負けても何も残さない。平和の大切さをかみしめてほしい」と話しました。

(8月6日「じんぶん」赤旗)より)

東輪寺では、15年前から広島原爆の残り火を灯し続けています。昨年から各団体が集まり、「平和の鐘をつく」実行委員会をつくりました。

この寺は、「花」の寺としても有名です。境内にある「鐘」は、いつでもつくことができます。一度訪ねてみては、いかがでしょう。

宇都宮で6・9署名行動

新日本婦人の会宇都宮支部は、8月6日、9日「核兵器全面禁止アピール」の署名行動を行いました。

いろいろと対話になりました。ある女性は「70年前は9歳だった。毎日毎日、お腹がすいてたまらなかった。母親は5人の子どもを育てたので、本当に大変だった」と、署名に応じてくれました。

別の女性は「戦争法案には反対だが、署名は書きたくない」と言われたので、「まわりの人たちに、思いを話してがんばりましょう」と、話す「わかりました」と、帰っていきました。

男性は、「父は朝鮮から8歳の時、連れてこられて大変苦労した」と、話しながら署名をしてくれました。

この署名行動には、原爆パネルを展示しながら、署名を呼びかけました。

12万人 怒りの包囲

違憲立法・戦争法案の廃案と安倍政権の退陣を迫る「国会10万人・全国100万人行動」が30日行われ、国会前を埋め尽くしました。

国際会議に参加して

新日本婦人の会栃木県本部 伊藤 直子

8月12日に神戸で開かれた日本母親大会に続きで広島へも行こうとつぶやたところ、「国際会議にも参加したら」とのおすすめに、断る理由もなので軽く承知してしまいました。

栃木からの参加は私1人とのこと、参加することに意義ありと国際会議の2日目(8月3日)から出席しました。海外代表の発言は、同時通訳されるので理解できるけれども声が二重になり、疲れます。メモが追いつかず聞き逃したことが多々あるものと思いますので、それは後日記録集で補っていただくことにして、私の初体験の感想を述べます。

今年のNPT再検討会議では、米英加の反対で最終合意文書お採択に至らなかったこと、しかし失敗ではないこと、日本、ベトナムなどから800万を超える署名が国連に届けられ、「核兵器のない世界」を実現する法的抱束力のある措置を求める声が核保有国を追い詰めていることは確かなです。

オーストリアが発表した「核兵器の人道上的影響に関する共同声明」に159カ国が署名し、核兵器を禁止する人道性の誓約に113カ国が署名するなど、非核兵器と市民の運動は前進しているということ改めて励まされました。(中略)

事前準備をしなかったのを後悔しましたが、その場でできることで交流しようと思いついたのがパタパタづる!手元にある紙を急いで正方形に切って折り、海外代表の方たちに「Do you know?」と声をかけ、手渡しました。気難しそうなおじさん(?)もパタパタ羽ばたく折り鶴をみると大笑い。オリガミ、ORIGAMIは、海外にも知られた日本も文化、サダコ、はだしゲンとともに「ノーモア。ヒロシマ、ナガサキ」をさらに大きな声にしていくグッツだと確信しました。

世界はひとつ!被爆国日本の政府を変えることができた、いや変えるのです。そうなったらどれだけ世界を励ますか、希望のもてる会議に参加しし、学べたことに感謝いたします。

いわさきちひろ

2016年版カレンダー

定価 1,400円+税

注文は 栃木県原水協へ